

令和7年度「豊かな環境づくり大阪府民会議」運営委員会 議事概要

日 時：令和8年2月26日（木）11:00～12:00

場 所：WEB 会議システムによる開催

出席者：別添名簿のとおり

（●：委員発言）

（1）豊かな環境づくり大阪行動計画について

事務局から、資料1-1、1-2に基づき説明。議案について、一部修正し共有することで、一同了承。

- 黄色のハイライトは万博レガシー関連とのことだが、行動例にある電動車の選択やマイバッグの携帯、緑化の取組についても万博のレガシーという位置づけなのか。
→（事務局）万博ではEVバスや、走行中の給電が取り上げられており、それにつながるものとしてEV、全般的なものについても記載。またマイボトルも万博会場内での取組としてかなり注目されたというところ。木造リングの上での緑化もあり、黄色ハイライトにしている。
- 国も一緒になって、万博の機会を捉えて、ディーゼルバスを走らせるという挑戦をしたところだと思うので、逆風はあるかもしれないが、引き続きチャレンジしていくことが重要で、こういった取組を共有できればと思う。
- 今回の行動計画の見直しの強調すべき箇所は万博での取組を継承し、さらに今後の行動促進につなげたいというところだと思う。本計画で分かりやすいように、黄色ハイライトを残すか、もしくは、資料1-2に記載されている万博で披露されたカーボンニュートラル技術の取組の内容を盛り込むべきではないか。
→（事務局）行動計画の最終ページに参考資料として万博取組を追記する案で修正する。
- 万博の大屋根リングの工夫や自然の庭園で非常に感動を覚えた。行動計画上でも、自然との共生について、万博での成果を強調してはどうか。
→（事務局）ご意見いただいたところも、万博での重要な取組部分のため、先ほど行動計画に追加すると申し上げたページを加工する形で、自然との共生取組も追記する。
- もとの行動計画に掲載されていたSDGsのアイコン4番の教育と17番のパートナーシップのマークがどこにもない。府民会議の取組ページに学習や連携等の文言もあるので、入れていただきたい。
→（事務局）追記する。
- 取組項目ごとの趣旨と、SDGsのターゲットとの整合性や、その行動例がどの取組項目に紐づくのがふさわしいかについて、一度確認してもいいのではないか。
例えばⅢの消費調達の推進で言うと、環境に配慮した消費調達の推進で、まさしく12番の作る責任、使う責任、持続可能な消費生産というターゲットに該当すると思う。今回新たに記載された内容も含めて、改めて確認を。例えば、Ⅰの行動変容のところ、ペロブスカイト等先進技術の導入促進という内容が書かれているが、9番のイノベーションや12番の作る責任、使う責任にも該当しているようにも感じる。間違いではないと思うが、先端技術の導入やカーボンフットプリントは、どちらかというⅢの消費調達の推進にある方がよいのでは。
→（座長）事務局で、確認の上、うまく内容と項目の整合性を取って修正したものを、後日、委員の皆様方にご報告させていただく。

（2）令和7年度の取組報告について

事務局から、資料2に基づき説明。意見等なく、議案について、一同了承。

(3) 令和8年度の取組について

事務局から、資料3-1、3-2に基づき説明。議案について、一同了承。
意見は以下の通り。

- 府民会議は非常に活動の幅広い取組。ロゴマークをいろんな場面で、いろんな人に知ってもらえるように使えたらよいと考えるが、どのような活用の仕方を想定しているのか。会員団体も多く、ネットワークの力は大きな資産だと思うが、そういった団体が取組を実施するときに、ロゴマークを使えるとか、後援名義で使えるなど、様々な団体が活用できるような方法も考えているのか。
→(事務局) ロゴマークは会員をはじめ、皆さんに使っていただけるような内容にしたいと考えている。皆さんが実施されている環境活動の場での使用や、府民会議のグッズ作成などを想定。一定ガイドラインのような形で、ロゴマークの使い方について整理し、追って共有する。
- おおさかネイチャーアクションの直近のセミナーとして、3月4日の事業者向けに実施することだが、資料はないが、この際周知したらどうか。
→(事務局) 追って共有する。